

家畜保健衛生所だより

R8.11.4

約 20 か月ぶりに福岡県でランピースキン病が発生

ランピースキン病は、令和6年11月に福岡県内の2農場において初めて発生を確認(牛が移動した熊本県でも発生)したのち、令和7年2月以降、新たな発生は確認されていませんでしたが、令和8年 11 月1日、約 20 か月ぶりに**福岡県**で**疑似患畜を確認**しました。

本病は、**皮膚の結節や泌乳量の減少等を呈する牛・水牛の疾病**で、主に蚊等の吸血昆虫による機械的伝播で感染が拡大します。令和 8 年7月の家畜伝染病予防法の改正で、本病の**患畜及び疑似患畜は殺処分**の対象となり、原則、発生農場および発生農場を中心とした**半径5km 以内**の農場の牛に対しては、**緊急的なワクチン接種**を行うことになりました。

韓国で本病の発生が拡大する中、このたび福岡県でも確認されたことにより、本県における**感染リスクは一段と高まっています**。このため、以下の防疫対策を徹底し、家畜に異常が認められた場合は、速やかに当所まで連絡願います。

✨防疫対策を徹底しましょう✨

① 異常(皮膚の結節や水腫、発熱、乳量の低下等)の**早期発見・早期隔離・早期通報**

② **吸血昆虫対策**(トラップの設置、殺虫剤の散布等)

③ 導入牛の一定期間の**隔離、経過観察**

④ 農場**消毒**(エタノール、逆性石けん等、一般的な消毒剤も有効)

中予家畜保健衛生所　TEL　089-990-1333

携帯　090-6282-6129（夜間・休日）